

ゆざわまち

あなたと議会を結ぶ架け橋

令和2年
第137号

3月議会

4月26日発行

議会だより

3月9日 湯沢町経済リカバリー委員会設置
(少雪と新型コロナウイルス感染症対策)

3月定例会／3月4日～19日

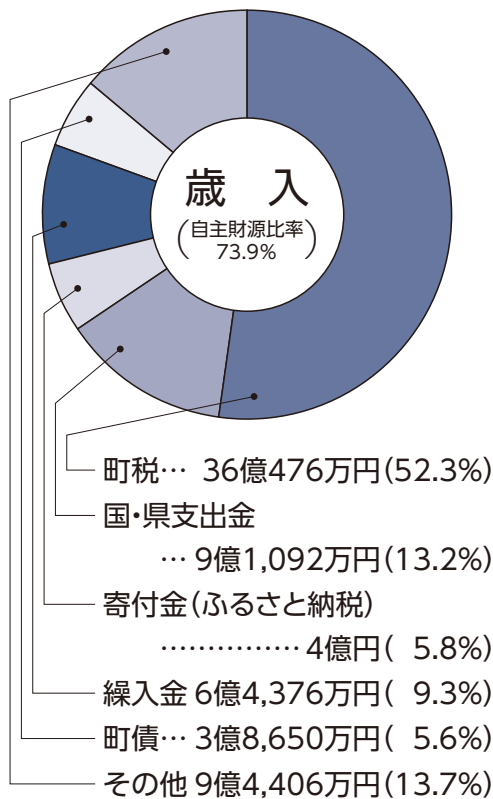
令和2年度当初予算 賛成多数で可決されました

JR東日本 上越線毛渡沢橋梁

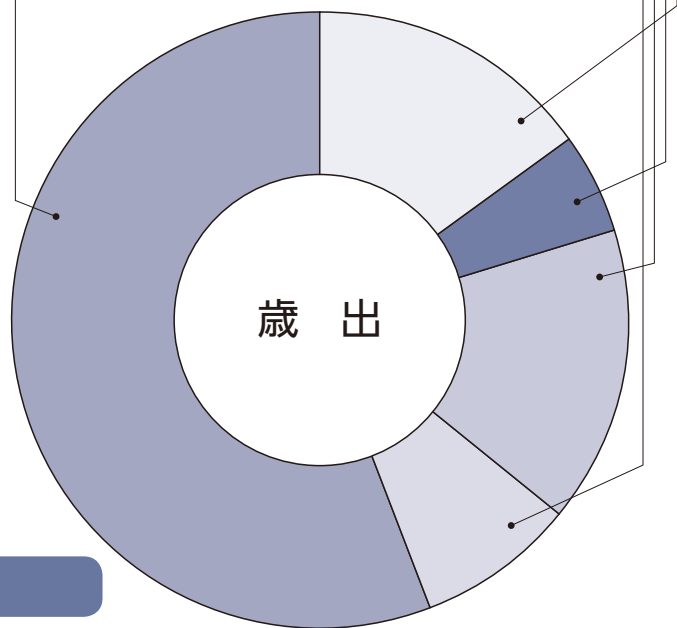


令和2年度
一般会計予算

総額68億9,000万円



人件費	10億4,896万円 (15.2%)
公債費	3億5,612万円 (5.2%)
6会計へ支出	10億7,649万円 (15.6%)
南魚沼市へ支出	5億6,296万円 (8.2%)
その他	38億4,547万円 (55.8%)



主な新規事業

湯沢町総合計画策定	799万円
ワンストップ移住定住促進業務	939万円
湯沢版DMO設立検討	550万円
魚野川右岸遊歩道・秋桜マラソンコース整備	4,280万円
都市再生整備事業(駅東口、旧湯沢小)	5,700万円
駅東口駐車場管理(料金徴収システム導入含む)	510万円
国土強靱化計画策定	550万円
旧布場スキー場雪崩対策現地調査	500万円
防災ラジオ中継局移設補助金	1,000万円
公民館管理業務	3,165万円

南魚沼市への業務委託

消防業務	3億3,879万円
ごみ処理(可燃、不燃)	1億9,146万円
し尿処理	1,826万円
斎場業務	545万円
その他(特別支援学校、職業訓練、介護認定等)	1,485万円
合計(介護保険料特別会計を含む)	5億6,881万円

他会計への支出

国民健康保険特別会計	1億142万円
後期高齢者医療特別会計	2,450万円
介護保険特別会計	1億6,153万円
下水道特別会計	5億2,000万円
水道事業会計	521万円
病院事業会計	2億6,383万円

基金残高(令和元年度末)

一般会計計	20億3,531万円
特別会計計	3億4,900万円

地方債残高(令和2年度末見込み)

一般会計	42億5,752万円
下水道特別会計	29億8,257万円
水道事業会計	2億6,540万円
病院事業会計	2億8,881万円

魚野川右岸遊歩道・秋桜マラソンコース整備

4,280万円



都市再生整備事業（駅東口、旧湯沢小学校）

5,700万円



旧布場スキー場雪崩対策現地調査

500万円



防災ラジオ中継局移設補助金

1,000万円



公民館管理業務

3,165万円



駅東口駐車場管理（料金徴収システム導入含む）

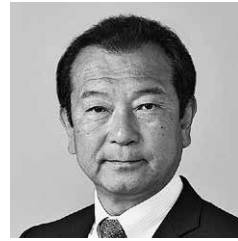
510万円



町長の施政方針に対する代表質問

3月10日

※町長施政方針は町広報3月29日号をご覧ください。

総務文教
常任委員会代表質問者
岸 野 雅 人

Q 定住移住「ワンス
トップ」は、どの部署か。
A 民間から募集し
一ヶ所を決定、様々な

対応をしていただく。役場内ではない。
Q 「総合計画」策定への進め方は。
A アンケート、委託先募集、素案、

諮問、答申、パブコメ、3月議会上
程と進む。
Q 危機で重要な「自主判断」と自
主防災組織。

A その重要性の理解浸透を図って
いきたい。
Q 有効な防災ラジオ、難聴対策と
普及の方策。

A 基地局移設への補助を行う。引
き続き普及を図りたい。
Q 「児童美術館建設」、未だ検討と
あるが。

A 思いは不変だが、具体的には

至っていない。

Q インキュベーションセンターの
実績と事例。

A 累計51名中21名が起業。商工会
も努力してもらっていて、効果は
あったと考える。

Q 飽和状態の未満児受け入れと児
童クラブ、対応策と受け入れの採点
基準は。

A 未満児受け入れは検討中。児童
クラブは様子を見て。0〜1歳児の
受け入れは利用指数表の採点をし、
選考会で決定している。

Q 特別支援学級の現状認識と今後
の対応。

A 現在、小学校に4クラス、中学
校に2クラス設置。学校・教育委員
会の要請による。

Q スキー振興「さらなる」は新事
業か。また他部活への取り組みは。

A 「さらなる」は、続けてより深
くの意。部活動は学校教育活動、で
きることは協力する。

Q 所蔵が膨らむ児童展の将来は。
A 継続していく。作品の貸与にも
取り組む。

提案 権威を落さず、隔年開催に
しては。

A それも手かも。行事支援者と
も要協議。

Q 文化財の町長部局の活用、何を
どうする。

A 今のところ考えていない。今後
の取り組み。

Q 公民館の業務委託内容、町民に
明らかに。

A 契約の準
備中。今後周
知する。

Q 業務委託
に至った経緯
を町民に示せ。

A 議会には
説明してきた。



町民に対して説明不足

Q マグナ交換留学、生徒減少と受
け入れ苦慮。将来展開は。

A 今後継続（今年は中止）。
提案 往くと迎える年を分けては
どうか。

A 検討が必要。継続の意義はあ
る。

Q 湯沢高原の記述なし。現状認識
と方針は。

A 維持管理しながら長く使われて
ほしい。架け替えなど、先のことは
今後考えていく。

生活福祉
常任委員会代表質問者
高 橋 政 喜

Q 高齢者等路線バス
運賃助成事業の「対象
路線の拡充や運行経路
の見直しをバス事業者
と協議」とは、どの地域を想定して
いるのか。手続きの簡略化や利用者の
利便性向上のための改善は検討し
ていないか。

A 三路線のバスに加え、下湯沢地
区・堀切地区・三俣地区・二居地区
への乗り入れを検討。湯沢発着路線
では楽町交差点を追加。手続きの簡
略化は事業者と検討中。

Q 不妊治療を受ける方に対し、医
療機関までの交通費を助成できない
か。

A 町に対して、そのような要望は
届いていないため現在は検討してい
ない。要望が多くなれば検討する。

Q 「すくすく子育て応援金」は、
今後も継続していくのか。制度の見
直しを検討する必要がある。

A 湯沢町での子育てを応援する
メッセージであり、出産祝い金でも

産業建設 常任委員会



代表質問者

田村 計 久



Q 若者呼び込み、生活の場とするには希望する職業、安定した所得・子育て、生活環境の充実が必要。そのために四季観光の充実を図り住民のための街づくりを推進、しっかりした経済を確立することが優先ではないか。

A 住んでいる人たちにとっていい町でなければならぬ。新幹線通勤インキュベーションセンターの活用、企業支援、子育て支援など若者の定住を図りたい。

Q 町が人手不足で進める外国人の雇用促進状況は、現状は民間各事業所が手配していて町の関与は見当たらぬ。また外国人地域おこし協力隊によるサポートの現状は。

A 湯沢の外国人は昨年9月末145人、今年1月末419人。冬季間の人手不足に対し、町内事業所が独自に手配をしている。協力隊の中には外国語に堪能の方が数人いるので、この夏から在住外国人の対応や言葉

の壁の解消などサポートしてもらおう。
Q 街なみ環境整備の進む温泉どおり歩行空間の駐車違反、雪の対策と滝沢線消雪パイプ水不足はどのように対処するのか。

A 駐車違反について湯沢温泉通り歩行景観整備事業推進委員会、地域関係団体、警察、南魚沼振興局と協議し対策をとる。消雪パイプの水不足について、井戸ポンプの交換などを行うが、西地区は地下水が少ないため貯水槽を拡張し対応する。



違法駐車で危険な温泉通り

Q 自然環境を夏季観光の主力となるよう取り組むとは、全体構想を示し優先順位をつけて集中投資が必要ではないか。

A 登山道、トレッキングコースの整備を進め、利用増強のための情報発信をしていく。スノーカントリートレイル事業を推進、苗場山を含め長野県とも連携協力している。

また大源太湖周辺整備、鱒どまり遊歩道整備、ミズベリングの指定など、着実に整備を進める。

Q 観光地域づくり法人の設立に対する町長の基本的な考えとは。雪国観光圏との関係はどうするのか。

A 湯沢町観光地域づくり法人の早期の実現に向け、広く説明会、意見聴取をし、新年度具体的な体制づくりを進めることになった。持続可能な観光地を目指し設立検討予算を計上した。

雪国観光圏は地域ブランディングに特化、新法人は地域マネージメントとこれまでの観光協会の業務など、ビジョンの共有など密接に連携することが重要である。

ある。子どもを産んだ方々からは喜ばれ、今後も続けていきたい。

Q 敬老会の当日に参加できなかった方に対しても不平等とならないように、配慮することはできないか。

A 多くの方から出席いただきたいが、残念ながら欠席された方には、町内会からタオルをお渡ししている。今年度も同様とする。

Q 障がい者グループホームの設置に向けた取り組みについて、これまでの経過と今後の見通しは。

A 南魚沼福祉会と実施した物件調査では適当な物件がない状況だが、設置に向け継続して取り組んでいる。開設に向けて新たな動きもあるので、町としてできることは協力していく。

Q 湯沢病院のイメージアップを図り、町民からの信頼を深めるため、行政が行う具体的な取り組みはないのか。

A 平成14年8月の開院から17年が経過した。管理者と協議し、令和2年4月から一般病棟を包括ケア病棟に転換する。在宅復帰に向けたリハビリ機能の充実で、町民から信頼を深めることにつなげたい。

令和2年度 当初予算審査 特別委員会

令和2年3月12日～3月16日



委員長
和田 一郎

総務部への審査

Q ワンストップ移住定住促進業務とはどのようなものか。民間の取り組みだけではなく、担当職員がどう関わるか。

A 移住定住に関する情報発信や、さまざまな相談への対応等を包括的に委託するが、すべてを任せるわけではない。行政と民間が連携することで成果を上げていきたい。4月から業務を行えるよう、プロポーザルにより業者選定を行っている。

Q 防災ラジオの現在の貸与台数は、

A 1,200台程度だが、昨年の台風19号以降に問い合わせが増えた。今後も貸与台数が増えるよう取り組んでいく。



Q 国土強靱化計画策定とは、どういった計画をどのように策定していくのか。

A 総合計画と同列に位置付けられる計画であり、総合計画と併せて業者に委託する。総合計画や地域防災計画との整合をとるため、必要に応じて各委員と意見交換しながら整理していきたい。

健康福祉部への審査

Q 高齢者等路線バス運賃補助金の手続きを簡略化できないか。

A どこでどれだけ利用があったのか、利用状況を把握する必要がある。

Q 高齢者世帯等住宅除雪援助事業の対象は何件を見込んでいるか。

A 見込みは50件程度で、支給額はその年の降雪量により異なる。

健康福祉部

介護保険特別会計

Q 認知症サポーター等養成講座は、

町内の事業所との連絡体制を構築するために有効であり、今後も力を入れてほしい。

A 町民の理解を深めるため、今後も継続していきたい。

Q 生活支援コーディネーターとはどのようなことを行うのか。

A 高齢者の生活支援、介護予防サービスの体制整備のために配置している。ボランティア等の担い手の育成、住民参加型の在宅福祉サービスの運営など、社会福祉協議会に委託している。

子育て教育部への審査

Q 湯沢学園のマイクロバスについて、子どもたちの安全を考慮して新しいバスにすることはできないか。

A 学校関係も含め町の車両は、年数や走行距離を勘案して更新の計画を立てている。

Q 令和2年度のマグナとの交流事業は、どのような経緯で中止を決定したのか。

A 新型コロナウイルスの影響で、今年はマグナからの派遣を取り止めるとの連絡があった。相互交流としての受け入れができなくなったため、町長、教育長とも協議し、湯沢からマグナへの派遣についても中止を決

定した。

Q 教育委員会の事務室の改善について、いつ頃までにどのように対応していくのか。

A 公民館管理業務の委託により、教育課の体制も変更となる。職員の働く環境も考慮し、年度内には方向性を出したいと思う。

産業観光部への審査

Q 県は鳥獣被害対策支援センターを設置し、猟友会の会員確保のためにライフル射撃場の整備も行っていると聞いている。町も連携して狩猟免許の取得に取り組んでもらいたい。

A 鳥獣被害対策については、今後も県と連携し対応していきたい。ライフル射撃場は、調査設計の町負担分を計上している。



Q 地域おこし協力隊は、地域で活動し任期終了後もその地域に定着し

てもらいたいというのが本来の趣旨だと思うが、観光団体での雇用は期限付きの職員のような扱いになってしまうのではないかと。

A 観光協会での案内業務等をお願いしているが、勤務日数は少なく、他の活動もできるように考えている。

Q 登山道の整備は、どこでどのような整備を行うのか。

A 雪解け後に必要な箇所を確認し修繕を行うほか、主に登山道の草刈りを行っている。

地域整備部への審査

Q 東口駅前広場駐車場の料金徴収システムは、どのような仕組みになるのか。

A 駐車場の出入口に設置したカメラでナンバーを読み取り、駐車時間に応じて料金を徴収する。現在の冬期間の管理経費と同額程度で通常の管理が可能となる。シヨップイングモール等での実績もあり、長時間駐車車の抑制が期待できる。未払いの料金徴収も、カメラやシステムのメンテナンスと併せて業者が行う。

Q 凍結防止剤散布と冬期道路パトロールは、どのような業務か。

A 降雪前の除雪会議で凍結防止剤の散布を指示している。道路パト

ロールは2名体制、施設の不具合や排雪の必要性等を確認し、朝の打合せと夕方の報告を行う。

地域整備部

下水道特別会計

Q リブ管の耐用年数はどの程度か。

A 耐用年数は40年。古いところは平成元年の供用開始なので、あと10年ほどで更新が必要となる。

Q 下水道に接続していない世帯はどれくらいか。今後の見通しは。

A 水洗化人口は86%程度。ダイレフトメールで下水道接続について周知している。

税務町民部への審査

Q Pay PayやLINE Payの利用は納付につながるのか。

A コンビニなどに行く必要もなくなるので、徴収率の向上につながることを期待している。

Q 婚姻届や出生届などの手続きのために窓口へ来た方を祝福する工夫はできないか。

A 検討したが実現には至っていない。

町長への

総括質疑

Q 異常少雪や新型コロナウイルスへの対応について、現状をどのように見込んで今後はどういった対策に取り組んでいこうとしているのかなど、町民の不安を払拭させるような情報発信はできないのか。

A 当初予算には新型コロナウイルス対策は盛り込んでいないが、今後の動向を注視し、国・県とも歩調を合わせて対応していく。経済対策については関係団体からの情報を取りまとめ、対策委員会では今後の対応を検討する。対策委員会での検討状況等は広報で町民にも周知したい。

Q 起業支援補助金については、町民からもその事業に対して支援してもらえよう、どんな人がどのような事業を始めたのか広報等で公表するべきではないか。

A これまでは情報の公表等について要綱に規定がなかった。どのように対応するべきか検討する。

Q サウンディング型市場調査の予算を計上しているが、企業誘致についてはこれまでに行った調査の結果や企業誘致推進官から得た情報等、どのように活用していくのかを考えるべきではないか。

A 民間のノウハウを活かした市場調査であり、行政でできることと民間でできることの連携が必要とされている。これまでのノウハウを活用することは大切であり、職員にも伝えていきたい。

Q DMO設立検討について、町長はどのように考えているのか。

A 観光地としての湯沢町で事業を進めていくためにはDMOが必要だと思う。専門的な見地から、現状の把握と各地域の協会の意見の取りまとめを行っていただきたい。

採決結果

賛成

渡辺・和田・南雲・高橋・岸野・関・宮田・田村・白井

反対

並木・佐藤

8,695万円増額 総額76億4,468万円

令和
元年度

一般会計補正予算 審査特別委員会

3月4日

(第8号)



委員長

南雲好幸

歳入(収入)の主な増減

児童手当負担金	466万円減
社会資本整備総合交付金	3,206万円増
災害復旧費補助金	1億3,010万円増
公立学校情報通信ネットワーク	
環境施設整備費補助金	523万円増
プレミアム付商品券事務費・	
事業費補助金	684万円減
湯沢こころのふるさと基金	
(ふるさと納税寄付金)	1億円増
給食費徴収金	147万円減
プレミアム付商品券販売収入	2,320万円減
地方譲与税(森林環境譲与税)	261万円増
町債(借金)	
道路事業債	3,420万円増
都市計画事業債	1,660万円減
災害復旧事業債(台風19号)	9,520万円増

歳出(支出)の主な増減

議会費(費用弁償)	143万円減
起業支援補助金	300万円減
児童手当	610万円減
橋梁修繕・道路改良・消雪パイプ	
リフレッシュ	470万円増
下水道特別会計操出金	1,312万円減
公園施設長寿命化対策支援事業	3,670万円減
公立学校情報通信ネットワーク	
環境施設整備事業	1,036万円増
プレミアム付商品券事業費	2,995万円減
湯沢こころのふるさと基金事業	
寄付者謝礼	3,000万円増
基金積立金	1億円増
公衆浴場費	773万円増
森林環境譲与税基金積立金	316万円増

主な質疑

- Q** 起業支援補助金の申請がなかったのは、何か理由があるのか。
- A** 今年度は申請がなかったが、特段の要因は考えられない。
- Q** 共同浴場の指定管理料を増額することについて、施設別の内訳などは把握しているか。また、補正額は3月末までを見込んだ金額か。
- A** 街道の湯と宿場の湯の入り込みは好調だが、それ以外が苦戦している。3月末までを見込んで補正予算を計上したが、その後の新型コロナウイルス感染拡大による影響については含まれていない。
- Q** プレミアム付商品券の申請はどれくらいあったのか。購入のための現金が用意できずに申請しないという人はいなかったか。利用が見込みよりも少なかった要因は。
- A** 実際に購入した人数は対象者の半分以上だった。ほとんどの購入者は2万円分まとめて購入していた。町内でしか使えない商品券のため、町外での買い物の機会が多い人には不評だった。高齢者の中には、自分ではあまり買い物をしないという人もいた。

議会活動日誌

1月7日	新潟県町村議会議長会会議(新潟市)
8日	湯沢町消防新年祝賀会
9日	議会広報常任委員会
15日	(二社)雪国青年会議所事業説明会及び新年祝賀会
16日	議会広報常任委員会(南魚沼市)
17日	湯沢町都市計画審議会
21日	孔鉉佑駐日中国大使歓迎交流会
22日	議会広報常任委員会
29日	湯沢町新春賀詞交歓会
30日	第1回議員全員協議会
31日	湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会
2月5日	総務文教常任委員会
7日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査
13日	新潟県市町村総合事務組合 監査
14日	生活福祉常任委員会
17日	新潟県市町村事務組合議会(新潟市)
19日	産業建設常任委員会
20日	議会運営委員会
21日	南魚沼職業能力開発運営協会
22日	南魚沼職業能力開発運営協会
23日	南魚沼職業能力開発運営協会
24日	南魚沼職業能力開発運営協会
25日	南魚沼職業能力開発運営協会
26日	南魚沼職業能力開発運営協会
27日	南魚沼職業能力開発運営協会
28日	南魚沼職業能力開発運営協会
29日	南魚沼職業能力開発運営協会
30日	南魚沼職業能力開発運営協会
31日	南魚沼職業能力開発運営協会

2月臨時議会

2月20日



●町長専決処分……………賛成全員 ↓ 承認

令和元年度一般会計補正予算（第7号）

裁判費用関連（2件）、少雪対策『信用保証料補給』

『工事の前倒し発注』など、2,652万円の増額

Q 境界裁判用立体模型の大きさは。

A 境界修正地の地形で、A1程度の予定。

Q 消雪施設の改修費増は、冬前の点検後直ちに行えなかったのか。

A 予算範囲を超えてのポンプ入替え等による補正増で、早期対応のための専決。

●歳入は、全額を財政調整基金より ……2,652万円

●歳出のおもな増額変更

- 十日町市との境界裁判用の立体模型作製 ……132万円
- 旧神立高原裁判の弁護士費用 ……990万円
- 農業用水路改修 ……130万円
- 信用保証料補給 ……100万円
- 消雪施設改修（ポンプ入替え等） ……1,300万円

●町長専決処分……………賛成全員 ↓ 承認

令和元年度水道事業会計補正予算（第1号）

流出した魚野川の取水施設の災害復旧関連で、3,300万円の増額

Q 専決で金額明示、発注済みか。

A 測量と設計は発注済み。工事も落札済み。

●議案（契約の締結）……………賛成全員 ↓ 可決

かぐらスキー場線橋梁災害復旧工事請負

請負者……（株）森下組

金額……1億2,650万円

Q 結果的に工事期間が雪融け時期と重なるので、安全には十分な配慮を。

A 増水前になるべく早く着工したい。

※大字三俣大島地区くがらスキー場駐車場をつなぐ橋で、町道ですが元々仮橋です。

●議案（契約の締結）……………賛成全員 ↓ 可決

旧『湯沢保育園』を

（5年間）お貸しします

契約者……

（株）マイクロ

ウェーブ

年 額……

31万2,525円

※課題…議案の添付資料内容、要相談。



旧湯沢保育園

20日 第1回湯沢町議会臨時会

第2回議員全員協議会

21日 公益財団法人新潟県市町村振興協会 評議委員会

新潟県町村議会議長会 定期総会

24日 新潟県後期高齢者医療広域連合議会 定例会

魚沼地区郵便局長会及び魚沼地区なでしこの会 通常総会

25日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査

27日 南魚沼地域広域計画協議会

28日 議会運営委員会

議会広報常任委員会

3月2日 湯沢中学校 第60回卒業証書授与式

3日 湯沢中学校 第60回卒業証書授与式

4日～19日 第1回湯沢町議会定例会

5日 第3回議員全員協議会

9日 湯沢町経済リカバリー委員会設置

19日 議会運営委員会

24日 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会 正副議長会議

25日 湯沢小学校 第73回卒業証書授与式

27日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査

新潟県町村議会議長会 会議

（新潟市）

09 ゆざわまち 議会だより 第137号 令和2年4月26日発行

開会中の常任委員会審査

総務文教常任委員会

3月5日

委員長 岸野雅人

議案 湯沢町常勤特別職の職員に対する給与

条例の一部改正

人事院勧告に沿った期末手当の改定。

年額0.05ヶ月分の引き上げで3.3ヶ月が3.35ヶ月に。

賛成全員 → 《可決すべき》

議案 湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁

償に関する条例の一部改正

人事院勧告に沿った期末手当の改定。

年額0.05ヶ月分（年額12,248円）の引き上げで3.3ヶ月が3.35ヶ月に。

賛成全員 → 《可決すべき》

議案 湯沢町特別職の職員で非常勤のものの

報酬及び費用弁償に関する条例の一部

改正

企業誘致推進官・広報戦略アドバイザーを削る。

公民館長を設けておく。あとは名称の訂正。

賛成全員 → 《可決すべき》

議案 湯沢町職員のサービスの宣誓に関する条例

の一部改正

会計年度任用職員採用時のサービスの宣誓のしかたを決める条例改正。湯沢町は書面にて行う。

Q 憲法をどうするとあるか。

A 尊重、擁護。（宣誓文朗読）

Q 臨時、パートもするのか。

A 制度なので、今後は宣誓を求める。

賛成全員 → 《可決すべき》

議案 普通財産無償貸付契約の締結

旧二国小を引き続き国際教育研究会に無償貸与、1年間。

賛成全員 → 《可決すべき》

議案 土地賃貸借契約の締結（10,000平

方メートル以上）

賃貸契約の更新、3年間。

契約者……（有）でんき屋

年 額……58万6,200円

賛成全員 → 《可決すべき》

請願 湯沢高原スキー場用駐車場の設置を求

める請願

紹介議員による説明 田村議員



冬季の駐車場は必要です

Q 設置の場所は。

A 忠霊塔登り口右側、島村ロッジさん斜め後ろ。

Q マンションの方は、スキー場が望みでは。

A 現在、そのような話はしていない。

Q 町に造らせる考えか。

A 町が事業者か、契約内容にもよる。私からは何とも。

賛成全員 → 《採択すべき》

産業建設常任委員会

3月5日

委員長 田村計久

議案 城平跨線橋補修工事の施工に関する協

定の変更

城平跨線橋補修工事の施工に関する協定の変更で、当初協定額2億7,455万円を2億3,022万円に変更する。

賛成全員 → 《可決すべき》

議案 令和元年度下水道特別会計補正予算

(第3号)

4,639万円を減額し、総額を9億5,011万円とする。地方債の起債限度額5,940万円を4,360万円に変更する。

賛成全員 → 《可決すべき》

陳情 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充

を求める意見書」の採択を求める陳情

賛成全員 → 《採択すべき》

生活福祉常任委員会

3月5日

委員長 高橋政喜

議案 湯沢町国民健康保険条例の一部改正

税率の決定方法、過去の税率との比較と保険税の軽減等について説明。

Q 保険税率や税額は、どうすれば町民の理解を深めていけるか。

A 保険税は3年間の激変緩和措置を行っている。そのことと併せて広報等で周知していきたい。

Q 税額が上がることはどのように説明するのか。

A 一人当たりの医療費が増えている。それに伴い、県への納付額も増額となっているが、基金を活用し保険税額の急激な上昇を抑えている。

賛成多数 ↓ 《可決すべき》

議案 湯沢町介護保険条例の一部改正

第1号被保険者の保険料は、消費税引き上げに合わせて軽減措置を一部実施しているが、新年度から完全実施するための条例改正。

賛成全員 ↓ 《可決すべき》

議案 宇の変更

国土調査事業の実施に伴い、隣接する字との整合が取れない神立地内の8筆の土地について字の変更を行う。

賛成全員 ↓ 《可決すべき》

議案 令和元年度国民健康保険特別会計補正

予算(第3号)

2,368万円を追加し、総額を10億7,817

万円とする。主な内容は、療養給付費の増額とそれに対応する県からの交付金の増額。

賛成全員 ↓ 《可決すべき》

議案 令和元年度後期高齢者医療特別会計

補正予算(第2号)

136万円を追加し、総額を1億76万円とする。確定した今年度の保険料総額に合わせて、保険料と広域連合への納付金を補正する。

賛成全員 ↓ 《可決すべき》

議案 令和元年度介護保険特別会計補正

算(第3号)

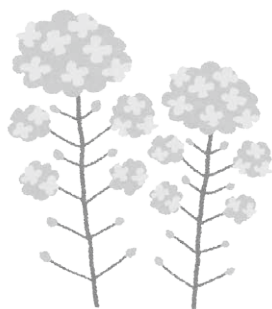
2,853万円を追加し、総額を9億126万円とする。給付費等の実績見込みにより不用額を減額する。

賛成全員 ↓ 《可決すべき》

陳情 厚生労働省による「地核医療構想」

推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める陳情

賛成全員 ↓ 《採択すべき》



本会議審査

3月19日

一般会計予算 討X論

反対討論

並木利彦

・国の経済状況は、コロナウィルスとは関係なく12月時点で小売業販売額が、同月比7.1%減。今回の予算には、景気刺激策を盛り込むべき。

・夏季観光の湯沢神立、土樽、苗場みつまたの各地区のビジョンを今任期中に計画し、具体的な計画の前倒しを予算に計上するべき。

・夏季の気温上昇に伴う具体的な対策を予算に計上するべき。

・湯沢町の魅力を明確にして、より一相の具体的な政策の予算を付けるべき。

・共働きでも安心して子どもを預けられる環境に予算を厚くするべき。

・湯沢町におけるスポーツ施設の計画的な建設や補修の予算計上をするべき。

陳情

「最低賃金一律1,500円」

反対討論

岸野雅人

俯瞰してみれば、労働市場の需要と供給。最低賃金を全国一律1,500円にすれば、製品の値段は上がり、地方の仕事はなくなり、国内産業の空洞化が進みます。

議 員 表 決 結 果 報 告

令和2年3月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
 ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	渡辺千恵	和田一郎	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	関忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	白井孝雄
2月臨時会	令和元年度一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度水道事業会計補正予算（第1号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	かぐらスキー場線橋梁災害復旧工事請負契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産貸付契約の締結（旧湯沢保育園）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月定例会	湯沢町個人情報保護審査会委員の委嘱	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町情報公開審査会委員の委嘱	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町総合計画審議会委員の委嘱	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育長の任命	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町常勤特別職の職員に対する給与条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	湯沢町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町介護保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産無償貸付契約の締結（旧三国小学校）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結（土樽下川原）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	字の変更（七谷切・宇津野・芝原・荒戸）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	城平跨線橋補修工事の施工に関する協定の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度一般会計補正予算（第8号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度下水道特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度一般会計予算	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
	令和2年度国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度下水道特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度病院事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町監査委員条例等の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願等	湯沢高原スキー場用駐車場の設置を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	可	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○
	厚生労働省による「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める陳情	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会提出	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	可	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○
	厚生労働省が発表した公立・公的病院の「再編・統合」の白紙撤回と、地域医療の拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



Q 地球温暖化・気候変動への積極的な対応を



&

さとう もり まさ
佐藤 守 正

A 先ずは温暖化防止実行計画を策定したい

質問

「地球温暖化対策に関する法律」は、「市町村は温室効果ガスの削減のための計画を策定する」として、

温暖化防止のための行動を促している。町はどう取り組んでいるのか。

答弁

町の再生可能エネルギーの普及促進補助金制度は、町が自主的に取り組んでいる事業であり、市町村

実行計画の中に掲げる事業であると考えている。

質問

温暖化で、町の主要産業であるスキー観光が大きな打撃を受ける湯沢町は、町民にCO₂の排出にもっと関心を持ってもらう必要があるのではないか。

答弁

湯沢町は地方公共団体実行計画を未策定であり、まずはそれを策定したい。

Q

町職員の障がい者採用は

A

応募者がなかった

質問

町は、職員として2.5%の障がい者の雇用を法で義務づけられている。それに応えて、来年度採用の町職員に初めて障がい者若干名を予定して「広報ゆざわ」で告示をしたが、採用試験を受験した方は何名で、採用内定者はおられたか。

答弁

一般事務職員募集を行ったが、応募者がな

質問

かった。その後ハローワークを通して、4月から1名を会計年度任用職員（非正規職員）として採用する見込みがついた。引き続き法定雇用率の達成を目指す。

①自力通勤ができる人
②週38時間45分の勤務が可能

な人

③活字の試験問題に対応できる人

④面接試験に対応できる人

障がい者だから一般の方に比べてハンディがあるのは当然だ。役場は採用しようとする障がい者に、どういう障がいを持っている方を想定しているのか。

答弁

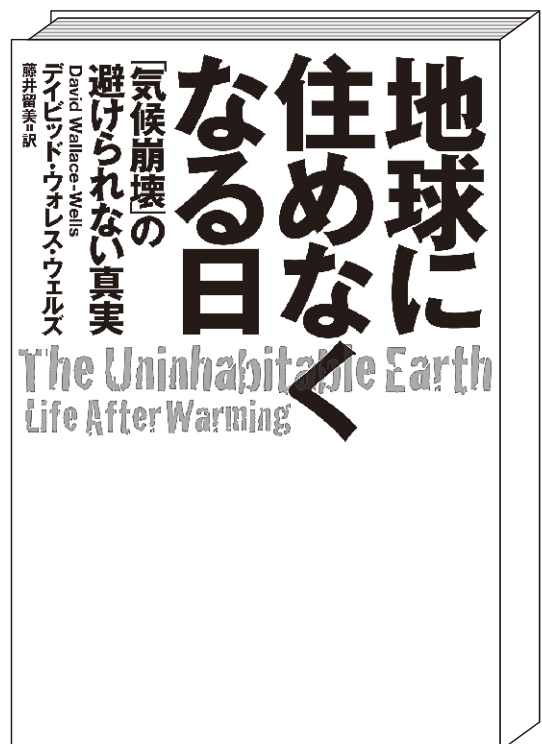
通常の勤務ができる人、健康の人と一緒に働いていける方を募集したい。湯沢町の場合、2.5%というと4人になる。国の方針に従うよう考えていきたい。

質問

障がい者を職員として採用するとなるとさまざまな問題が生じるが、障がい者の人権を尊重しながら、町の中の障がい者の処遇として他の職場のモデルケースになるような環境を整えてもらいたい。

答弁

湯沢町が求めている障がい者は、一般事務職の仕事ができる方だ。一般事務以外の仕事については、会計年度任用職員という雇用の仕方もあるので、検討したい。



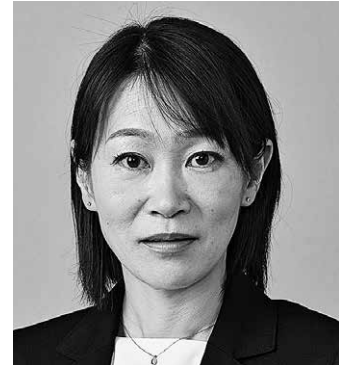
Q 湯沢駅東口の将来構想は



&

わた なべ ち え
渡 辺 千 恵

A 国の交付金を活用しながら都市再生整備計画を進めている



質問 東口はどんな町づくりをしようと考えているのか。

答弁 誰もが歩きたくなるような道路空間整備、多様な世代の交流する快適な暮らしを目標に計画を進める。

質問 駐車場が少なすぎる。今後増やす予定は。

答弁 現在特定の人が使っていて、他の人が使えないような問題もある。誰のための駐車場か？駅周辺に適地があるのか？既存の施設を活用しながら見直しをしていく方向。

質問 東口のアーケードは、空き店舗や後継ぎ問題により、アーケード組合単独ではどうにもならなくなっている。今後老朽化が進み、事故の危険性など

質問 東口のアーケードは、空き店舗や後継ぎ問題により、アーケード組合単独ではどうにもならなくなっている。今後老朽化が進み、事故の危険性など



老朽化が進む東口アーケード

も考えられる。東口の構想があればアーケード問題も含め、考えていっていただきたい。

答弁 町としてすぐには難しい。まずアーケード組合の方に今後について話し合いをしてもらい、その意見を聞きながら何ができるのか一緒に考えていきたい。

Q 民泊は増えているが問題は起きていないか

A 今のところ聞いていない

質問 今後様々な問題も予想される。わが町のこと、湯沢町の独自の決まりごとを定めるべき。再検討を望む。

答弁 町も把握していかなければならないが、できること、できないこともある。

観光協会に加入していないところもあるので加入を促し、町として何ができるか考える。

Q 部活動などのバスは古いが安全に問題はないか

A 修理して使用している

質問 湯沢学園での部活動の遠征などに使用するバスが旧式のものもある。子どもたちの安心、安全のために見直しを望む。できればシートベルト3点式のものを使用してほしい。

答弁 特に遠距離の場合は、他の部署の新しいバスの空き状況を確認しながら使っていきたい。



Q 冬はスキー観光がメイン 夏季観光でのメインは & A 特化は考えていない

並木 利彦



湯沢町の夏季観光の推進は

不景気、少雪、不確定要因のコロナ被害による冬の収入減を夏季観光で取り返さなければならぬ状況。

内閣府が2月17日発表した10～12月期の国内総生産は、前期比マイナス1.6%、年率換算マイナス6.3%（コロナ要因は別）。これからコロナウイルス被害が上乗せになってくる。

現在の夏季の状況は、気温上昇に伴い、観光には不向きな状況が3年間続いた。去年は、県内の複数地域で40度を超えた。冬シーズンも気温が高く少雪であり、南極大陸でも最高気温18度を記録。今年の夏季シーズンも気温が高い状況が予想される。

暑さ対策としては、即効性のあるもの、複数年かけて対応していくものと、2つに分けられる。

スポーツ施設は、7月20日～8月20日内で、より多くの宿泊施設が恩恵を受けられる

ような施設が必要。

湯沢町はスキーの町であるとして町長は言われるが、暖冬が続くようであれば、夏季観光は大事になってくる。スポーツ施設に限っても広く浅く作っていくのでは、時代と逆行している。何か一つ飛び抜けたスポーツ施設がメインでなければ生き抜けない。

質問 夏季観光の暑さ対策として、即効性のある取り組みを行うことはできないか。

答弁 なにができるか勉強していく。

質問 夏季観光の有名な地域では、街路灯をうまく活用し夜の観光を推進している。湯沢町でもこのような取り組みを行うことはできないか。

答弁 観光協会の皆さんと相談していく。

質問 町長は以前の私の質問に対して、「湯沢町はスキーを推進していく」とのことだった。今年は暖冬であった。冬はスキー観光がメイン。夏季観光においても、

答弁 これがメインであるといえるようなものを作っていくための街づくりが必要ではないか。特化することは考えていない。



夏季スポーツ施設

Q 湯沢学園を活かした 具体的施策は



&

な ぐ も よ し ゆ き
南 雲 好 幸

A 個別的内容にお答えできない



質問

9月議会の答弁では「湯沢学園を活かす具体策を次期総合戦略に盛り込みたい」、12月議会での進捗を伺うと「戦略会議から答申をいただいた段階、議会最終日の全員協議会での報告準備を進めている」とご回答。

しかし、その報告書から

「具体的施策」が読み取れない。盛り込んだ具体策を伺う。

答弁

総合戦略は、方向性を示す事業概念であり、湯沢学園だけを特化するよりも、湯沢を気に入る要素になることが大事であり、地域再生計画の個別内容にお答えできない。

Q

少雪による今後の
経済対策や新たな施策は

A

新たな観光推進組織により
戦略的観光政策を進める

質問

年頭の挨拶の中で「総合戦略の重点目標に掲げる、若者が生活の場として選択する町の実現を目指し、移住定住の促進、子育て環境の充実に加えて新たな施策を展開する。」と述べている。

今までにない少雪で町の産業・経済は大打撃を受けた。さらに新型コロナウイルスの発生でインバウンドに期待した観光客も激減し、泣きっ面

に蜂の状態。これらを踏まえ、将来を見据えた新たな施策を伺う。

答弁

異なる3エリアの魅力を引き出し、お客を受け入れる体制を整えるために、新たな観光推進組織により戦略的観光政策を進めることが重要。

Q

観光だけでなく、
新たな2本柱、3本柱の
産業構造への考えは

A

観光地として
湯沢町をさらに高める

質問

雪頼み、外国人頼みの観光だけではリスクが大きいことが判明。既成概念や流行に左右されず、2本柱、3本柱の産業構造を考えていくべきではないか。

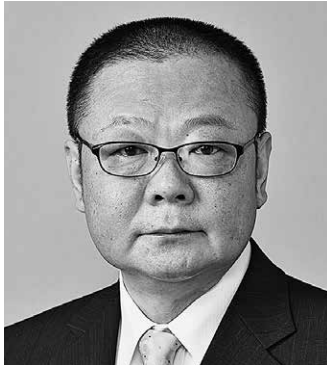
将来を見据えた町づくりを推進するために、思い切った新たな施策を再検討すべきと

答弁

観光立町湯沢の8割が観光産業。観光地経営をしっかりと担う新たな組織とともに、町を盛り上げながら取り組んでいく。



ニューズウィーク日本版 2020年3/24号
「観光業の呪い」(CCCメディアハウス)



Q 立地条件などを考慮した 災害用備蓄の検討を



&

A 台風19号の経験などを活かし 検討していく

わ だ い ち ろ う
和 田 一 郎

避難所の備蓄は大丈夫か

質問

避難所の備蓄については指針等に基づき対応されているものと考えますが、雪国という立地条件なども考慮した地域独自の備蓄も必要なのではないか。

また、現在備品の多くは湯沢学園の防災倉庫に保管されているが、浅貝・二居・三俣

が災害により孤立するような事態になったときにも十分に対応できるような設備・備品等の分配をお願いしたい。

答弁

災害時に孤立が予想される地区においてはすでに分散備蓄を実施しているが、台風19号の経験などを活かし、追加備蓄についても検討する。

有事に際し、しっかりとした対



備蓄している災害用の非常食

応ができるという体制のなかで現在のこの状態になっていると考えるが、今回指摘いただいたような事態が起こりうる可能性もあるというなかで、どのように分散していくか、どのようかということを含めて今後検討する必要があると考えている。

越後湯沢駅西口ロータリーの 消雪パイプがひどすぎる

質問

越後湯沢駅西口ロータリー歩道部分の融雪について一部不備が生じている。多くの観光客が往来することからも、歩道が雪に埋もれているという状況は、お客様の安全という面からも改善する必要があると考える。

答弁

現状としては消雪パイプに加え、状況を見な

湯沢中央公園有料施設の 予約抽選会の実施時期はおかしい

質問

多くの宿泊施設にとって夏季合宿の受け入れは大きな収入源となっている。夏季の団体予約の多くは2月から3月にかけて確定してくるが、現在の予約抽選会は概ね4月中旬に行われている。そういった業界の状況にに応じて、実施時期の前倒しなどを検討いただけないか。

答弁

公共の施設であるという観点からも、公平にその機会を町民の方に提供するということが町としては必要なことであり、指定管理者にもそのようにお願いをしている。これまでの経緯や抽選会参加者の意向などを踏まえ、指定管理者には適切に判断し、運営していただけるものと考えている。

から機械による除雪等を行うこととしている。しかし、今回そういう状況がなかったということとお話を伺ったのでその辺の状況を確認していく。実際に現場を見させてもらいながら、今後どのような対応ができるのかについては検討をしていきたい。

Q 温泉通りの違法駐車 どう関わっていくのか



&

岸 野 雅 人

A まずは地元事業者の 駐車が問題



質問

幅広の路肩は、駐車しても車道が確保され、むしろ違法駐車しやすくなったようだ。「あとは民間のモラルの問題」では片づけられない。どう関わっていくのか。

答弁

地元の方々や団体、警察と協議しながら進めていきたい。

質問

すでに多額の県税。他地区の納税者から「なんだあのザマは」と言われかねない。

解決策の一つとして、雪国館駐車場の立体化はどうだろうか。資金は回収可能で、うまくいけば新設DMOの財源ともなりうる。

答弁

駐車場を造る以前に、地元事業者の駐車が問題。まずは自分の駐車スペース確保を。

さらに関わる人たちの意識づけの輪が大事。



違法駐車車両が多い中、車椅子の方（左手前）とマイクロバスがすれ違っていました（1月25日（土））

Q

将来課題へ向け、人口ビジョンの浸透と素案の提示が大切。自身の構想を示せ

A

人口ビジョンは広報や公聴会等で、素案の提示は早速取り組んでいく

〈将来課題例…役場の建替えや病院の大改修〉

答弁 人口ビジョンの理解は大切。中長期の視点に立ち、検証と検討の必要がある。

質問 将来展望の認識は大切として、素案・たたき台の考察と提示には、どう臨むのか。

答弁 行政レベルで方向を出していく。

質問 ならば言わせていただくが、童画美術館建設は何ら構想もなく「任期中の建設」を言い出し、その後担当部に検討させ、さらに町の将来展望と無縁の外部意見を募り公表しながら「町の考えをまとめる」ということをされた。普通はあり得ない。

また、美術館建設構想を



湯沢町役場

いつかは建て替え、いつかは大規模改修、そしていつかは廃止か縮小。湯沢町には財産がたくさんあります。広く理解を得なければなりません

答弁

般質問で問うと、総合計画にあるような文言を並べる。職員は湯沢町の職員であって、町長の職員ではない。税金を使ってまとめた計画は、町の未来のための方針や政策であって、田村正幸氏の『開花八策』と同じではない。大切なことは『自分の考えを持つこと、それを世に問うこと』ではないか。将来課題に取り組みスケジュールはどうか。

早速取り組んでいく課題と理解している。



Q 2020東京オリンピックの ホストタウンへの登録実現を & 南 雲 正



A 縁がなくホストタウンとしての 登録に至っていない

質問

町長の政策
集開花八策

では、2020東京オリンピックの合宿誘致を一丁目一番地として掲げていたが、実現できなかった。南魚沼市では夏の猛暑対策として、競技会場に雪クレーンを2ヶ所、スノーバック23万個配布する準備を進めている。

東京オリンピックと関わることで、観戦者の宿泊誘致、今後のインバウンド対応の道筋につながるかと考えられる。

オリンピック、パラリンピック推進本部では、全国の自治体と参加する国、地域の住民が交流し、地域の活性化に活かすホストタウン構想への登録を推奨し、経費の50%を国が特別交付税で対応することとしている。

東京オリンピックと湯沢町が関われる最後のチャンスと



答弁

思われるが町長の考えを伺う。東京オリンピックの合宿誘致は、施設整備に多額な投資が必要であり、見送った経緯がある。事後交流型ホストタウンとして登録が可能となったが、縁がなかったこともあり、登録に至っていない。

オリンピック開催までの残された時間で、縁があれば検討したいと考えている。

Q

2020年を地方創生元年として
みんなが地域のことを真剣に考える
取り組みを

A

第2期総合戦略の推進は
機会を設けながら
町民の関心を高めていきたい

質問

国は、第1期総合戦略の最終年である2019年を総仕上げとして、次のステージに向けて検証を実施し、2020年から次の5年間のステージに進むことを指導している。

地方創生が地域の住民とあまりかわりがなく、国と地方自治体との間だけで空回りしてきたような印象をうけるが、第2期総合戦略のスタートに当たり、その実現に向けて地域の一人一人の知恵と実践が不可欠である。

町民とともに、本気になって地方創生に取り組む環境づくりについて町長の考えを伺う。

答弁

第1期総合戦略の成果は、人口減少が緩やか



になり、よい傾向が表れてきた。当町の出生率は県内平均より低い状況にあり、このことは改善しなければならぬ大きな課題と認識している。第2期総合戦略を進めるに当たっては、地方創生への町民の関心を高めるために機会を設けながら、町民の関心を高めていきたい。

議員全員協議会

1月22日

●次期総合戦略への意見提出

文書提出 4名

口頭 1名

*最も重要なことは、統計的な将来展望である「人口ビジョン」が広く正しく理解されることだと考えています。

●ノリタ跡地への企業誘致についての説明

これまで交渉中だったA社が進出を断念。今後はサウンディング型市場調査を行いたい。

(サウンディング型市場調査とは公有地活用方法を民間事業者から広く意見、提案を求め「対話」を通じて市場性等を把握する調査)

●立地適正化計画について

意見提出 1名

タイトルや内容が行政目線であること、そして用途地域指定には規制があることなど、将来誤解を生まないような説明を。

●少雪対策について

信用保証料の補給開始。新年度予定の工事などの早期発注の様子や降雪見合を見て、必要に応じ検討する。

●南魚沼市総合支援学校後援会の加入のお願い

この地域で暮らす障がいのある子どもたちの就職、自立へのお手伝いをしていく後援会。
年会費 5,000円

2月20日

●新ごみ処理施設建設についての説明

今まで交渉してきた場所は白紙に戻り、改めて2市1町で検討する。

3月5日

●湯沢町新型コロナウイルス感染症対策本部設置

3月3日14時に対策本部設置。

●新型コロナウイルスに伴う学校等の対応

学校へ行かない期間の児童の生活

については、2月28日付学校長名で保護者宛に自宅での過ごし方の文章を出した。

●ふるさと納税の応援感謝券の取り扱い

ふるさと納税の返礼品に関して総務省の基準が厳格化したため、湯沢町も昨年の途中より5割から3割に変更。また、地場産品基準についての取り扱いを見直す。

3月19日

●情報関連業務委託の成果

(株)シックスへ包括外部委託により、委託1年目で金銭的にも機能的にも効果がでている。

●東口エレベーター設置

JRより2案の概略が報告された。高額な工事のため、社会資本整備総合交付金を活用しながらJRとの交渉をしていく。

●個人情報と議会への情報提供

起業支援補助金を受けた方々の情報公開をめぐるやりとりがありました。

また補助の要綱、個人情報保護条例の理解とLGBTの方への配慮、

また議案の添付資料についての話し合い。

●「湯沢町経済リカバリー委員会」が3月9日開催

少雪とコロナウイルス対応で湯沢町経済が受ける影響に対する対応を検討する委員会。

今後の感染状況、経済状況や、国・県の政策を見据えながら、町の対応を考えていくとのこと。正式な開催は4月から。議会内の意見集約も行う。

●議会だよりの一般質問を1人1ページか、2分の1ページにするか

内容を簡潔にする。経費削減。削減された費用を広報委員の費用弁償に充てられないかなどの意見が出たが、結果出す4月以降検討。

1番大事なことは一人でも多くの皆さんに手に取っていただき、読んでいただける「議会だより」にすることだと考える。



閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会

1月29日

●公民館の管理委託に向けての準備状況

プロポーザル（提案型公募）に2社の応募があり1社が辞退したので、アーキファクトリーと交渉中。

●認定こども園と児童クラブの申し込み状況と課題

0歳児、1歳児申し込みは定員オーバー。

Q 定員を増やすことはできないのか。

A 1歳児は面積的にいっぱい。0歳児はぎりぎり。

Q 保育士の応募はあるのか。

A 南魚沼市では応募はあるが、湯沢はほとんどない。正規職員としての責任や条件面を嫌う傾向あり。

●学校給食、認定こども園給食

プロポーザル方式により決定。学校給食、認定こども園ともに(株)メフオス。（全国規模の配食提供会社）

●ふるさと納税の現状と課題

返礼率が変わり心配されたが問題ない。返礼品種増。利用券キャッシュレス化検討。窓口のポータルサイト

大幅値上げになる予定。

●屋内児童遊園の利用状況と課題

利用状況なかなかよい。

Q 飲食スペースのトラブルは。

A あまり飲食はしていないよう。

Q 兄弟関係もあり、小学校低学年までは利用を検討できないか。

A 議論のあったところ。慎重に観察しながら検討したい。

●アルペンスキーワールドカップ

生活福祉常任委員会

2月6日

●湯沢病院の病床転換と運営状況

転換により一部利用者負担増となる場合もあるが、リハビリ機能の強化と収益の増加が見込まれる。

Q 病床転換による利用者の負担増はどの程度か。

A 平均すると入院で月額3,000円程度の負担が見込まれる。

●介護保険制度の概要

●湯沢地区の福祉バス

12月から運行時間と停留所の見直しを行った。

Q 利用者の意見を聞いたのか。

A 聞いていないが、利便性を考慮

して変更した。

産業建設常任委員会

2月14日

●新ごみ処理施設の説明

●台風19号による災害の復旧状況

災害復旧は農業関係で13ヶ所完了。林道関係5ヶ所、観光関係2ヶ所完了。

●観光客入り込みと民泊の状況

12月、1月のスキー場利用者は小雪の影響で平場のスキー場が苦戦。

Q 民泊業者に対し、地区の協会に加入を進めるべき。

A 地区の協会と協力して加入進める。

●大源太湖・鱒どまり周辺の遊歩道事業

ガムの景観やビュースポットの設置など、砂防事業所の協力で実現することになった。鱒どまりの護岸整備予定地域の前後については、県の補助金を使い、順次整備を進める。

●観光地域づくり法人(DMO)

第1回、第2回のワーキングで新法人案など議論を進めている。

●台風19号による災害の復旧状況

災害復旧は、路面・水路・小河川土砂撤去復旧で9ヶ所完了。道路・路面・路肩などは次年度対応。

Q かぐら線の架け替え費用は。町の負担と復旧時期は。

A 災害復旧事業なので町の負担は数パーセント。完了は6・7月頃。

湯沢町ロープウェイ対策特別委員会

1月22日

●今までの経緯説明と今後の進め方

経緯 町の観光事業会計が平成4年以降収支悪化。平成19年、日本ケーブルの子会社が町から施設を借りて運営。

平成29年の契約は5年。索道を含め施設の修繕費を町が負担。運営会社は町に修繕負担金500万円を支払い、純利益の額を限度として第三者借地料と施設使用料を支払う。

令和元年は運営会社から2,325万円を収入。3,977万円が支払われる予定。

今後 地域の方たちとの意見交換が必要では。将来どういう形が望ましいかを思いつつ、次回の契約をどうするか考えて進めなければならぬなどの意見が出た。

